



福岡市空手道連盟

【設立年月日】

1970（昭45）年11月

【加盟年月日】

1973（昭48）年 5月

【歴代会長】

初代 船越 栄一
 二代 為末 紀元
 三代 中野 重信
 四代 稲員 大三郎（現在）

【歴代理事長】

初代 倉光 英雄
 二代 板井 角馬
 三代 茂田 長俊
 四代 宮本 力
 五代 梅原 隆三（現在）

【沿革】

福岡市空手道連盟は、日本の伝統文化の一つである空手道を若い世代に伝えるため、また空手道を通して青少年の健全な育成を願い、福岡市及びその近郊の道場が流派を問わず心を一つにして、1970（昭45）年11月に発足しました。

1973（昭48）年5月には、福岡市体育協会に加盟し、翌年10月6日には第1回福岡市空手道総合演武大会を開催しました。



【現在の活動】

本連盟が主催する大会は年2回で、4月に福岡市少年空手道大会、9月に福岡市空手道総合演武大会です。

これらの大会で育った多くの選手が、世界空手道選手権大会、アジア空手道選手権大会、世界学生空手道選手権大会などで輝かしい戦績を残しており、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会での活動が期待される選手も多数おります。

2012（平成24）年度からは、中学校保健体育の授業で「武道」が必修となり、当連盟では現在67団体が団結し、組織をあげて中学校での武道必修化に全面的に協力しております。

福岡市空手道連盟は永年にわたって培われた「和」「礼節」「信義」の伝統を守りつつ、空手道の魅力をさまざまな形で発信し、老若男女を問わず空手道が親しまれる環境づくりに取り組み、更に新しい飛躍に努力したいと考えております。

